



日本と中国を繋ぐ、東亜同文会が設立したビジネススクール「東亜同文書院」

## 「東亜同文書院」と「金沢」

### 金沢展示会

2022年9月23日(祝・金)～25日(日)

10:00～17:00(※25日は13:00まで)

場所:石川県政記念しいのき迎賓館

### 金沢講演会

2022年9月24日(土) 13:30～16:30

- ◆13:30～ 東亜同文書院と郷土(石川県、金沢市)の人々  
脇水達生(愛知大学法経学部法学科 昭和46年卒)
- ◆14:15～ 中国の近代化と東亜同文書院  
藤田佳久(愛知大学名誉教授)
- ◆15:30～ 愛知大学現代中国学部創設期における熱量伝播の諸相  
加納希美(愛知大学現代中国学部1期生、金沢大学講師)



### しいのき迎賓館

2階:イベントホール  
ガーデンルーム

〒920-0962

石川県金沢市広坂2丁目1番1号

TEL:076-261-1111

FAX:076-261-1115



予約不要・入場無料  
・入退場自由

主催 愛知大学東亜同文書院大学記念センター

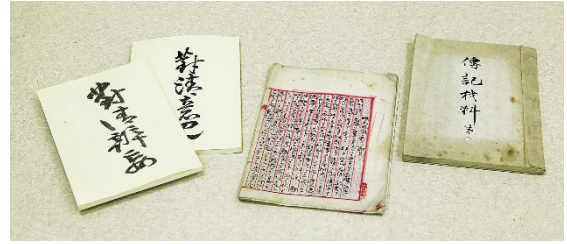
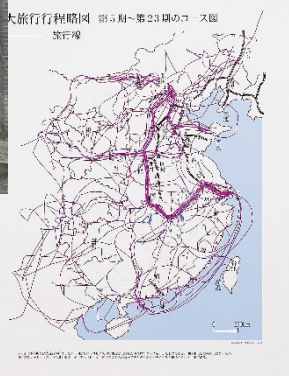
お問い合わせ先 TEL:0532-47-4139 Email:toa@ml.aichi-u.ac.jp

後援:一般財団法人霞山会、愛知大学同窓会、公益財団法人愛知大学教育研究支援財団



# 金沢展示会での展示物（抜粋）

## 東亜同文書院大学関連資料

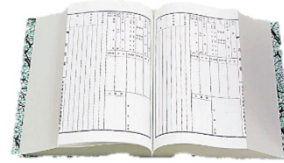
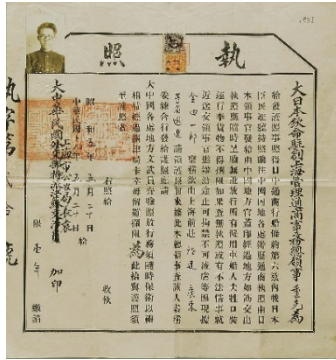


**荒尾精が書き記したもの**  
 右から順に『伝記材料第二』、『媾和締盟二対スル鄙見』、『対清意見』(1894年10月、復刻版)、『対清辨妄』(1895年3月、復刻版)。  
 日清戦争当時の国民世論に反し、広く対局を見て冷静に判断すべきことを訴えた。1896年(明治29年)台湾にて逝去。まだ十分活躍できる38歳であった。

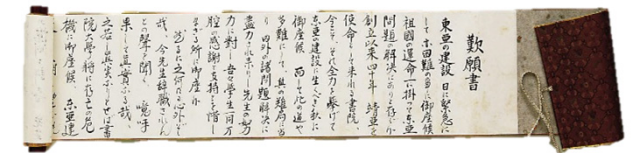


### 大旅行

東亜同文書院では卒業年度になると3~5人のグループごとに中国大陸各地へ3~5か月におよぶ徒歩中心の調査旅行が行われた。(現在の大学2、3年生)  
 卒業論文となった「調査報告書」、日記体の記録「大旅行誌」は当時の中国を知る貴重な資料となっている。



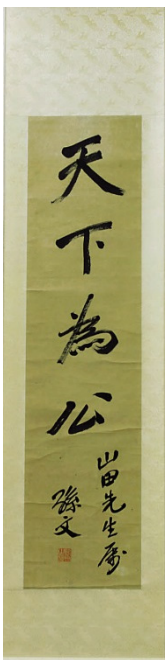
**東亜同文書院大学の学籍簿・成績簿**  
 敗戦・閉校にともない、本間らの苦心により接收を免れ、なによりも優先して上海から教職員、学生が持ち帰ったもの。



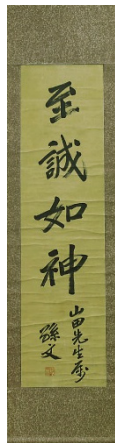
### 本間喜一への復帰嘆願書

東亜同文書院を辞職して帰国した本間喜一への、学生26名による復帰嘆願書。1942年5月11日。  
 本間教授を信頼し、慕う学生たちの気持ちがあふれている。これより本間教授は帰院し、学長に就任した。

## 大学記念館コレクション(孫文関連資料、近衛篤磨・文磨の書など)

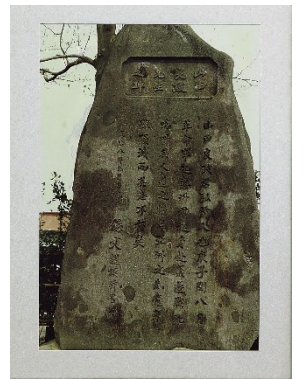
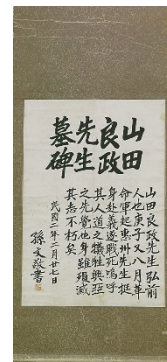


孫文と山田純三郎兄弟  
 山田純三郎は、兄の良政亡き後、東亜同文書院教員を経て、孫文の側近として活躍。



山田良政  
 (1867~1900年、33歳で没)

「山田良政先生墓碑」孫文書  
 孫文が公式訪問した折、東京谷中の全生庵に建立された墓碑の銘文を一部書き換えたもの。1913年2月17日。



「山田良政先生之碑」孫文書  
 青森県弘前市新寺町 貞昌寺  
 1919年9月29日。



愛知大学記念館常設展示室  
 「荒尾精、近衛家4代、根津一の書展示室」  
 よりいづれかを出品。